

女性キャリアをつくるのは、「ねばり強さ」と「しなやかさ」。

今回は、「女性キャリア」をテーマに、社員の成長に間近で接する人事担当の方にお集まりいただきました。女子学生はもちろん男子学生も必見!就活のヒントが満載の活発な座談会となりました。



株式会社トレジャー・トレーディング
人事部
橋口 邑美氏
■学生へのメッセージ
大学では時間があるので頑張ればいろんな人と出会えます。「こんな人になりたいな」という人をぜひ探してください。

バリューマネジメント株式会社
人材開発部
セネラルマネージャー
土井 みゆき氏
■学生へのメッセージ
何か目標をきちっと立てて、学生でもキャリアを作って、社会人として仕事に向かっていただきたいと思います。

株式会社PAL
経営企画室 人材開発部
HRマネージャー
北窓 佐和子氏
■学生へのメッセージ
いろんな方面にアンテナを張って情報収集し、頭をやわらかくして人生を考えください。

株式会社ネオキャリア
採用部新卒採用グループ
坂本 祐子氏
■学生へのメッセージ
今こそ、男子学生諸君へ。女性を上手に扱える男性が求められています。女性の気持ちも理解することを意識してください。

テレマート株式会社
人事部
角屋 智与氏
■学生へのメッセージ
自分から外に出て行く力を付けてほしい。そこで自分の将来というものを見つけてもらいたいと思います。



女性人事座談会



司会進行:
キャリア支援部 チーフキャリアカウンセラー
キャリア・コンサルティング2級技能士
糟谷 映美子氏

女性がキャリアを積める会社探しとは?

一女性がやりがいをもちながら仕事ができる働きやすい企業は、どんな視点で探せば良いと考えますか。みんなの入社のきっかけなどを振り返りながらお話をいただきたいと思います。

土井:今はウエディングに携わる仕事をしていますが、もともとウエディングに興味があったわけではなく、海外でまったく違う仕事をしていました。弊社の社長と出会い、何かできそうだ!とひらめき、入社を決断しました。

橋口:私は、弊社の代表と当時の先輩女性社員に憧れていきました。仕事はとてもハードで、辞めたいと思った時期も正直ありましたが、目標としていた方々との信頼関係がその都度幸いして、ずっと続けることができています。

角屋:私も「人」で会社を選びました。社内で「しんどいと思うときもあるけど、他の会社で、この人間関係が築けるかは分らない。だからこそこの仲間を大切にしたい!」という声をよく聞きます。「やりたい仕事」というだけでなく、自分をサポートしてくれる環境や、目標にしたい人物がいると長続きする、というのも仕事選びのキーポイントでしょうね。

坂本:私は「人」よりも、会社の「文化」に魅力を感じました。私の会社は「成長し続けること」をポリシーにしているので、自分自身が30歳になった時に、かっこいい大人になりたいな、もっともっとスキルを身につけたいな、という思いを持って仕事をしています。

「あきらめない力」と「臨機応変力」を身につける!

一結婚や出産・育児などの大きなライフイベントを経て、なおかつ、例えば組織の中で重要な役割を担って長く仕事を続けるためには、どんな力が必要だとお考えになりますか。

北窓:私は新卒で大手企業に総合職で入り、結婚後の27歳のとき、夫の海外赴任に同行したのを機に退職しました。5年後に帰国したとき働きたかったので、子どもの預け先と就職先を見つけました。2人目の子どもが産まれた後に今の会社に転職しましたが、夫がまた海外転勤になり、「仕事を辞めたくない」と社長に直談判。インターネットを使いながら海外で仕事を3年続け、その後、母子だけで帰国して会社での仕事に復帰したんです。紆余曲折を経験して必要だと思ったのは、①「あきらめないこと」、②「自分をよく知ること」、③「しなやかに、臨機応変に生きる」という3つの力ですね。ただでは転ばない、できることの最大限をやって準備することが大事です。

一経験に裏打ちされているので、非常に説得力のあるお話ですね。

土井:本当にあきらめないというのが大切ですね。弊社に、産休や育休から現場に復帰した者が数名います。課長職にそのまま戻ってきた者もいます。こういう場合、夫や周りの理解もとても重要です。

欠かせない人材へ自分の価値を高める!

一そういったさまざまな力を養っていくために、どんな努力が必要だと思いますか。

角屋:自分の現状を理解してもらおうとしっかり発信していくことは大切ですね。例えば、産休から復帰しようとしている人の中にも、IT、通信業界は目まぐるしく業務内容が変わるので、復帰した時に周りに迷惑かけないように、「今できること」と「これから準備すること」を周囲に理解してもらうよう、発信しなければなりません。

橋口:仕事で何かを頼むとき、男性にはストレートに言えば伝わることでも、女性には丁寧にプロセスから説明しないと言葉一つで印象が変わるので伝え方が難しい。これから女性は、飲み込みを早くする力や伝える力も必要かもしれません。

坂本:「信頼」をたくさん「貯める」ということが大切。独身時代に、営業成績はもちろん、社内的な評価とか、どれだけコミュニケーションを取れるかといったことを全力120%以上でやっておくべきですね。その「信頼貯金」に基づいて、自分のなりたい姿を明確にできてはじめて、自分の考えをしっかりと主張ができると思うんです。

北窓:自分の価値を高めて、その人だからこそうまくわかるといった信頼感を貯めておくというのは大事ですね。少し休んでも待っていてもらえる人材であることは、結構女性にとっては重要なと思います。

一他に代わりがない!が、強みですね。「女性キャリア」をめざす学生にとって、大変貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

業界研究セミナー 未来をその手につかむ「はじめの一歩」

Business キミの志望動機が見つかる、深まる!!

10月中旬より12月上旬にかけて、8回シリーズで「業界研究セミナー」を開催。

エアライン業界

グローバルなおもてなし業界が求めるのは「自律型人間」。



株式会社インフィニ ローベルインフォメーション(ANAグループ)
営業部 大阪支店 第1グループリーダー
徳増 みきお氏



*イメージ写真



*イメージ写真



●佐野 梓さん
法学部3年生
(大阪府立佐野高等学校出身)

華やかで、いつもニコニコしているCAの仕事の陰に、乗客の安全を最優先に考えながら、日々の努力の積み重ねがあることが分かり感動しました。航空業界のすべてにとても興味が湧きました。GDSのことが学べたのも嬉しいです。他の業界のことも勉強して、志望の進路を絆っていきたいと思います。



●川崎 建人さん
経済学部3年生
(滋賀県立守山北高等学校出身)

高校で海外留学へ行った際、現地の空港でグランドスタッフに助けられて、その仕事を知り興味を持ちました。本学でも留学したくてTOEICの点数を上げたことが、エアライン業界をめざす自信になりました。さらにTOEICなどをレベルアップし、エアラインスクールで学んで夢をかなえたいです。

入門



株式会社毎日放送
人事局キャリア推進部長
浜崎 祐一郎氏

自分の「興味」を探すことから始めよう!

内定獲得に欠かせない志望動機。その志望動機を深めるために取り組むのが業界研究です。「入門編」では、業界研究に先立つ大切なポイントを紹介。それは、ある業界を「知りたい」という強い気持ちと、その業界の魅力に「気づく力」。さらに自己PRのポイントは「失敗談こそ自分の強み」。その自分の強みを発見するために「家族や友人など自分をよく知っている人とたくさん話す」これが何よりも重要です。

そして大谷氏は言います。「企業は、笑顔の人を採用する!」

証券業界

世界情勢とシンクロしつつ、男女の差なく働ける業界!



みずほ証券株式会社企画グループ経営調査部投資実業推進室長

浜崎 祐一郎氏

世界の動きを知り、さまざまな業界を見通すことが必要な証券業界。求められるのは興味・関心の幅の広い人材。攻略するには「いろいろな業界を知り、学ぶこと」が大切。その上で証券業界をめざしたい学生は、断然ウエルカム!

旅行業界

どんな状況でも前向きに行動できるタフさとバイタリティを身につけて。



東武トップツアーズ株式会社関西支社 大阪法人事業部

第二営業部主任

岡 一生氏

旅行業界で求められるのは「顧客満足度の高い企画」。企画を立案し実施するために必要な、どんな状況でも前向きでタフな「行動力」、調整し組み立てるための「理解力」「コミュニケーション能力」を身につけよう。

マスコミ業界

番組作りは視聴者の反応を想像する力と、独創性のマッチング。



マスコミ業界をめざすために「備えておくべき力」は、①ひとつのマネはない独創性②ひとを傷つけない気遣い③ひとの痛みが分かる感性。「磨いておきたい」のは、①聞く力・読み解く力②伝える力・表現する力。

銀行業界

地域社会に溶け込む銀行の仕事と職場環境が見えた!



大正銀行 恵智支店

支店長兼高安振興所長

尾田 茂一氏

投資信託、保険など多様な金融商品の提供が銀行に求められる時代。女性の細やかさも大きな戦力として注目。積極的に外に飛び出す行動力、信念を持って語りかけるセルフ・イメージを学生時代に養おう。

ホテル業界

人間力でチャレンジできる、将来ますます有望な業界!



株式会社阪急阪神ホテルズ

事業統括本部 総務人事部

チーフ(人材開発) 松浦 淳一氏

ホテルは毎日、筋書きのないドラマが起きた舞臺」。そこで活躍する「プレイヤー」に求められるのは、タフネス、明るさ、素直さ、そして人を思いやれるオープンマインド。何より大切なのは「人柄」。

情報通信業界

現代～未来へ、社会を支えるIT業界へのアプローチ!



IT企業が求めるのは、ITスキルよりもヒューマンスキル、つまり「人間力」。社会で光るのはコミュニケーション能力、ポジティブなマインド、豊かな好奇心と失敗を恐れない挑戦者魂。今この瞬間から「やる、動く」姿勢を意識することが大切だ。

上の7つの業界の他にも、面白い業界がいっぱい!
多くの業界を研究して、可能性を広げよう!

STEP 1

何が好きか?
何に興味があるか?

「好き」や「興味」は、具体的に考えよう。
たとえば、人と話すのが好きか?企画するのが好きか?
調整するのが好きか?つくるのが好きか?

STEP 2

その興味は
どんな仕事に結びつくか?

人の話が好きなら接客業務、企画が好きなら商品企画や販売促進、調整が好きならコーディネーター、つくるのが好きなら製造や設計など。

STEP 3

やりたい仕事が
できる業界は?

好き・興味の対象が、どういった業界で、
どのような仕事になっているかを
丹念に調べてみよう。

STEP 4

業界・企業を
絞り込む!

好きな仕事があるか?好きな商品を扱っているか?
企業の理念に共感できるか?社員教育が充実しているか?
能力が正に評価されるか?
自分なりのチェックポイントをつくる。

STEP 5

内定に
直結!

業界・企業をしっかり調べて、
人事担当者が会ってみたいと思うくらいに、
志望動機を掘り下げる。



My Motto 私の座右の銘



「千里の道も一歩から」

大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程修了
博士(国際公共政策)
米国ノートルダム大学国際人権法学修士

菅原 絵美 法学部准教授

文字通りですが「千里もある遠い道のりであっても、まず踏み出した第1歩から始まる」という意味の諺(ことわざ)です。留学に行きたい」「英語を流暢に話したい」「憧れの職業に就きたい」と私たちは憧れる結果ばかりを口にしがちです。口先だけではなく、まずは行動で示せ。「少しずつでも日々の努力が未来の扉を開く

のだ」という力強い言葉であり、また「一步を踏み出さなければ永遠に千里先にあるゴールにはたどり着けない」という戒めの言葉もあります。また、本来の意味とは違いますが、「あれもこれもやらないくては」と焦っている時にこの言葉を思い出します。焦らず、ひとつひとつ片づけていく、これしかないです。

Congratulations on passing the examination 私はこうしてつかんだ、警察官になる夢!

試験前に高知を訪問して研究し、本番の面接に活かす！夢の扉を開いた、あきらめない心と行動力！

公務員合格者 中野 彩音さん 高知県警察 合格 法学部4年生（私立東海大学付属仰星高等学校出身）

テレビドラマを見たのがきっかけで、小学生の頃から警察官の仕事に興味がありました。高校の時にソフトボール部で主将、時間があるときに柔道部を兼任し、柔道で初段を取得したこともあり体力には自信がありました。本学をめざしたのは公務員採用試験の合格実績の高いSコースがあり、高校に指定校の枠があったからです。Sコースの勉強は難しかったですが、何とか粘り強く頑張りました。大学では警察への就職を意識し、柔道部に入りました。練習相手の男子を投げ飛ばすのが快感でした。また、本学のフィールドスタディで2週間中国に行ったり、アルバイトもしていたので大学生活は充実していて楽しかったです。採用試験では他県の警察で不合格になりましたが、あきらめられませんでした。民間企業に合格していたのですが、警察官への強い思いと一度落ちた悔しさがあり、高知県警を受けました。就勝実践Campの面接練習で志望動機が漠然としていると指摘を受けたため、インターネットで高知県のことを調べたり、試験前に高知県へ出かけて行き県警本部の方に説明を受けたりして、感じたことなどを本番の面接で話しました。その成果が出たので大変感謝しています。今後は警察学校に入って、警察官の職務の基礎をしっかりと学び、頼りにされる警察官になりたいです。

後輩へのメッセージ

警察を目指すなら体力向上は必須ですし、民間企業でも必要な上下関係の礼儀や、人前で話をする時のコミュニケーション力も身につくので、部活動をぜひやってください。



Career program 女性キャリアプログラム「内面美コンテスト」



12月5日
開催

努力に裏打ちされた自信が、内面美として輝きはじめる。

女性キャリア教育の充実を教育の大きな特色としている本学では、結婚や出産・育児などの様々なライフイベントを経験しながら職業的・社会的に自立した女性になるための素養を、大学時代に身につけることをめざし、実際に企業で活躍する女性の方々によるセミナーなど、生涯を通して自分を高め続ける女性となるための力の養成に役立つ様々な授業やイベントを実施しています。

今年度の1年生対象の「キャリア開発」における女子特別授業では、女性のキャリアを見据えた職業観を形成するとともに、「内面美」をテーマにしながら、キャリア形成の基本となる自己形成について学んできました。「内面美」とは、単なる外見の美しさではなく、内面から輝き出している美しさのことです。その「内面美」を身につけるために、自分自身が持っている内面美を理解しつつ、自分には足りない内面をどのように身につけていくかを、授業を通じて考えてきました。今回の「内面美コンテスト」はその集大成。参加した学生たちは、自分が磨いてきた内面の美しさを存分に表現することができました。この経験は、自らのキャリア形成にとって大きな財産となることでしょう。



山田 萌実さん 法学部1年生
(大阪府立枚岡樟風高等学校出身)

女性キャリアプログラムを受講して、内面を磨かないと、つい言動や行動に出てしまうといったことなど、外見をきれいに見せるだけではなく、内面美も大切なことを学びました。実生活はもちろん将来の就活にもいかしていきたいです。



梁策さん 法学部1年生
(遼寧省朝陽市第二高等学校出身)

母親が日本語の先生なので日本に興味があり、日本に留学して3年目です。キャリアプログラムの授業の中で、成功してキラキラ輝く女性たちの姿を見ました。将来は、彼女たちを目標に、法律関係か、日本語を教える仕事に就きたいです。



北川 愛さん 法学部1年生 (私立清明学院高等学校出身)
中学時代、コーラス部で全国大会に出席した時から「挑戦」が大事だと思っています。内面美コンテストに参加したのも、一つの経験として何かを得たかったから。内面美は、自分が積み上げた「自信」で磨かれると実感しました。

Topic 総合ランキング第1位は2年連続で資生堂に決定！

2015年「女性が活躍する会社BEST10」

『日経WOMAN』と日経ウーマンミックス・プロジェクトが実施した、2015年版「企業の女性活用度調査」の結果が発表されました。この調査は、『日経WOMAN』が1988年から不定期で実施しているもので、今回で13回目。過去最多の539社から回答が寄せられ、女性が活躍する会社の総合ランキングBEST100が『日経WOMAN』6月号誌上に掲載されました。この調査結果は、企業における女性社員活用の実態を「管理職登用度」「ワークライフバランス度」「女性活用度」「男女

均等度」という4つの指標で測定し、偏差値化したものです(得点が同じで順位が異なる場合は、小数点2位以下の微差)。ランキング総合1位は、2年連続で資生堂。美容職(ビューティーコンサルタント)約1200人が育児短時間勤務を利用するなど、働き方改革を実施し、女性がより活躍できる環境作りに取り組んでいる点が評価されました。上位企業では女性リーダーの起用と人材育成の強化に積極的なケースが多く見られたということです。

順位	企業名	総合点
1	資生堂	80.7
2	セブン&アイ・ホールディングス	80.2
3	ANA	80.0
4	ジェイティービー	78.6
5	第一生命保険	77.6
6	日本アイ・ビー・エム	75.9
7	高島屋	75.2
8	リクルートホールディングス	75.1
9	パソナグループ	75.1
10	住友生命保険	74.5

出典:日経ウーマンオンライン 2015年5月7日

※表示した総合得点(偏差値)が同じで順位が違う場合は、小数点2位以下で差があります。